平成26年2月5日

各　　位

会 社 名　株式会社ＡＣＫグループ
代表者名　代表取締役社長　　野崎秀則
（ＪＡＳＤＡＱ・コード番号２４９８）
問合せ先　取締役 統括本部長　森田信彦
ＴＥＬ　　０３－６３１１－６６４１

歩行者の安全な横断を支援する「横断者感知式注意喚起システム」の開発・高知県の国道で実導入

当社グループの基幹会社である㈱オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、名古屋大学大学院工学研究科の中村英樹教授、株式会社キクテックと共同で、歩行者の安全な横断を支援する「横断者感知式注意喚起システム」を開発しました。

本システムは、横断歩道の歩行者を人感センサーで検知し、路面の道路鋲とLED表示板により、ドライバーへ注意喚起を図るものであり、横断歩行者の安全に大きく寄与するものと期待されます。本システムは、高知県の国道等で試験導入されてきましたが、このたび実導入されました。

【システムの概要】

横断歩道の歩行者を人感センサーで検知し、路面の道路鋲とLED表示板により、ドライバーへ注意喚起を行う仕組みとなっています。(図1)

本システムは、すべての歩行者が横断し終わった時、または、設定した一定秒数後には、道路鋲とLED表示板は消灯します。また、歩行者用信号機と連動させることも可能であり、その場合、赤信号時には点滅しない仕様となっています。



図１　「横断者感知式注意喚起システム」の構成

【ポイント】

本システムのポイントは、常時あらゆる方向に対してむやみに警告しているものではなく、歩行者が横断しようとしているときのみに、そのことを検出して、また必要な方向のみ点滅させ、ドライバーへ注意喚起を行う点です。また、本システムは車載器などのデバイスを必要としないため、通過する全てのドライバーに注意喚起することが可能です。

注意喚起を路面に埋め込んだ道路鋲により行うことで、発光した道路鋲を注視すると、そこに横断歩行者がいるため、横断歩行者をより注意できる仕組みとなっています。

本システムは、過去に実施した実験等では、ドライバーの歩行者優先意識の向上、歩行者の認知遅れの防止、歩行者の安心感の向上等の効果があることが明らかとなっており、歩行者横断時の交通事故防止に大きく寄与できるものです。

これら実験による有効評価結果を踏まえ、このたび高知県の国道で実導入されました。

【成果の意義】

本システムの導入により、横断歩道において、自動車と歩行者の錯綜機会が減少し、横断歩行中の交通事故の削減と、横断者の安心感の向上が大いに期待できます。

本システムは、無信号の横断歩道、信号交差点の横断歩道(右左折時への対応)、左折導流路の横断歩道等、様々な場面での適用が可能であり、交通事故の削減に大きく寄与できると考えています。

＜高知県の国道での導入事例＞



人感センサー



道路鋲



制御 BOX



LED 表示板



以　上

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551　FAX: 03-6311-8011
URL：　http://www.oriconsul.com/
統括本部　　三百田、伊藤